

開業臨床心理士協会主催第 21 回心理臨床セミナーのご案内

開業臨床心理士協会事務局
☎446-0031 愛知県安城市朝日町 2-1

mail;koizumi0@amber.plala.or.jp

日 時 2020 年 2 月 11 日(月・祝) 9 時 50 分～17 時

Tel & fax **0566-77-5412**

会 場 名古屋駅前「ウインクあいち 1101 号室」

<http://sopccp.com/>

テーマ 「開業心理臨床の本質的課題と今日的課題」

「心理の開業」をめぐる状況は、時代とともに厳しくなっているようです。確かに近年、一方で、自殺、うつ、いじめ、DV、虐待、そして、環境破壊・異常気象に伴う大災害、原発の問題や核の脅威、さらには戦争をすぐそこに認める独裁的な政権同士の軋轢などなど、人々の「メンタル」の危機はすぐそこに感じられるようになり、それに応じて「メンタルな問題」への対応についての関心も高まってきています。しかし、だからと言ってそれが旧来の心理療法へとはつながっていません。人々はむしろ、まるでいわばコンビニ感覚で、よりお手軽な、より負担の少ない対処法を求め、臨床心理士の中でさえ、旧来の「じっくり」「丁寧に」変化を見守る心理療法を軽んじる動きが出てきています。そんな中で、伝統的な心理療法を生業とする開業は、まるで「先細り」の運命を辿るかのようには見えたりもします。

こうした時代、開業心理臨床には、どのような対応、工夫が必要なのでしょう。少なくともわれわれは、旧来のアプローチの意義や必然性をキチンと踏まえた上での工夫を組み立てたいと考えています。今回はそうした現代的な状況と、「開業」の生き残りを賭けたそれへの具体的な対応を、見失われたり、看過されてはいけない問題も踏まえつつ、考えてみたいと思います。

9:20～ 受付開始

9:50～ 会長挨拶 栗原和彦（代々木心理相談室）

10:00～ 基調講演『開業心理臨床の今日的課題』

司会 早川すみ江（日本福祉大学・小泉心理相談室）

講師 鈴木 誠（くわな心理相談室）

指定討論 栗原和彦（代々木心理相談室）

⇒全体討論

11:40～ 昼休（50分）

12:30～ 「開業心理療法の本質的課題～丁寧な開業心理臨床実践の報告～」

司会 宮地幸雄（岐阜カウンセリング研究所）

報告者 渡辺雄三（人間環境大学・渡辺雄三分析心理室）

『心理療法的関係性によるクライアントの他者体験と夢の世界における
クライアントの他者体験との交錯・二重性が織りなす心理療法』

指定討論 小泉規実男(小泉心理相談室)

⇒全体討論

14:10～ 休憩

14:20～ シンポジウム「具体的な工夫から学ぶ」

司会 大津直樹（吉田クリニック・ならい心療内科・小泉心理相談室）

シンポジスト 平井正三（御池心理療法センター）

『開業での子どもの心理療法の工夫～サポチルの取り組みを中心に～』

堀 恵子（ながら心理相談室）

『社会的ニーズの中に自分のできることを探して

～精神分析、子ども、職場環境改善、地域資源の創出、そして法人化～』

亀井俊彦（はこ心理教育研究所）

『反社会的 CL との面接、弁護士との連携』

指定討論 手束邦洋（手束心理言語臨床研究所・目白台心理相談室）

⇒全体討論

16:40～ 閉会の会長挨拶

参加資格・参加費；臨床心理士・公認心理師・医師他、臨床に携わる臨床家（9,000）、及び大学院生(5,000)。

申込方法；mail か fax にて、氏名・所属・資格名・メルアド・住所を明記の上、事務局までお申し込み下さい。定員 80 名に達し次第、締め切りさせていただきます。お申込み後、仮受諾返信と共に参加費の振込先をお知らせします。日本臨床心理士資格認定協会への研修登録申請を行います。

入会希望；当協会への入会方法などお知りになりたい方は HP をご覧いただくか、事務局までお問い合わせ下さい。